

web会議参加者へのチャットアンケート

①開会してから音声途絶えた回数(13事業所回答)

回数	事業所数
0	5
1	1
2	1
10	1
数えきれない程多い	3
数えていない	1
途絶えてないが声が小さい	1

②開会してから映像が乱れたり、途切れたりした回数(13事業所回答)

回数	事業所数
0	5
2~3	5
時々	1
少し	1
数多く	1

③「ケアキャビネット使用のレベル」(19人回答)

レベル	人数	割合
6	0	0
5	1	5%
4	5	26%
3	6	32%
2	4	21%
1	3	16%

《ケアキャビネット使用のレベル》

レベル	できること
6	他社に説明、指導できる
5	自力で解決できる
4	助言があればできる
3	指導があればできる
2	ID、パスワードを、持っている
1	ケアキャビネットを知っている

第1回多職種連携会議 研修後アンケート集計

23名から回答がありました。

①職種

医療関係 7名
福祉関係 13名
事務職 1名
行政 2名
その他 0

②参加形態

リモートで1人 5名
リモートで4人以下 14名
リモートで5人以上 0
本部(くろかみ会議室) 4名

③参加して「リモート会議に関して」どう考えたか

今後もやりたい 15名
どちらともいえない 5名
やりたくない 0
やりたいができそうにない 3名

④ 問3の理由

「どちらともいえない」と答えた人

- ・リモート会議には賛成するが、画面が小さかったり、声が小さくて聞こえづらいなど課題も多い(小さいパッドを利用した)

「やりたいができそうにない」と答えた人

- ・操作方法など不安なことが多いので、少人数の担当者会議などではうまく活用できれば…と思いました
- ・自分で場の設定をして会議を行うのは難しい。受け身であれば何とかなりそう。
- ・少人数のケアキャビネット利用を行うならば効果はありそうだが、多数対多数は話しづらそう。

⑤今まで「リモート会議」をどのように利用していたか。

- ・病院の段取りで、担当者会議と面会をした。
- ・自宅と病院をつないだ担当者会議 ×3名

- ・ zoom を利用した法人内会議
- ・ 退院時カンファレンス、退院時調整 ×2 名
- ・ 県南の病院とつないで何度かやった
- ・ 通所リハビリテーションのリハビリ会議
- ・ 部署内での連絡
- ・ 病院同士の情報交換 ×2
- ・ 家族との web 会議 ×2
- ・ 研修会

⑥リモート会議以外でも今後「ケアキャビネット機能」を利用していきたいか

利用したいと思う 18 名

どちらともいえない 5 名

利用したいと思わない 0

⑦記入者なし

⑧今後の研修会の開催の仕方等、意見やアイデア

- ・ ケアキャビネットを利用した研修を何度もすることで、難しくないことが分かれば利用が増えて、連携もしやすくなると思います。
- ・ 今回のケアキャビネット活用は、これまでの形式にない新しいネットワークの取り方を体験できたので有意義と感じています。音声や接続作業など不慣れなところは、相互の経験により克服できるものと期待もしますし、今後求められる機能と考えます。研修会を実施する場合は聴講型になりますが、事前に質問の投げかけがあると参加型の雰囲気になるかと思います。
- ・ 広い会議室で3密にならないよう人数制限をして研修をする(リモートで参加も可能にする)。
- ・ グループワークが可能なツールを使用。会場を分散。
- ・ リモートでの研修は参加しやすいので機会があれば参加したいです。
- ・ オンライン会議(研修)をたくさん実施し、オンラインに慣れていくことが必要と思います。
- ・ 今回のリモート研修は、事業所で研修が受けられて移動する手間がなかったのが良かったのですが、通信に時差ができたり途切れたりして聞き取りにくい面もありました。顔が見えないですし、他職種の方と交流できないのでなんだか寂しい気はしますが、研修を受けるのみでしたらこのリモートでも良いかと思います。ですが、研修会を開催できる状況であれば、2会場に分けて集まってはどうかでしょうか。収容人数の半数以下で調整すると会場数が増えて費用も増すことにはなりますが、毎回ではなくとも年に1~2回集まれば良いなと思いました。
- ・ 時々電波が悪くなって聞こえなくなったりするのがとても残念なのでそういうことのないよう万全に環境を整えることが大切だと思います。実施に関しては賛成です。
- ・ トラブルはあると思いますが、個々、または2~3人ごとにリモートで行うのが費用も関わらず良いと思います。
- ・ 今まで作り上げてきた関係がこの状況でまた薄くなっては困るので、本日のような方法で研修していただきたいと思います。大きめの会場を数か所設け、会場の中では討議できる環境(直に話ができる)にしていれば良いのではないのでしょうか。

- ・リモート会議がきちんと行なえるようになればそれでも良いですし、年に1回は人数を制限して今まで通り集まって研修をしてもよいと思います(感染対策を行っていれば)。
- ・まずはリモート研修を受けたいと思います。やってみながら考えさせてもらいます。
- ・一方通行で情報を発信し、簡単なやりとりをする程度であれば、今回のようなやり方や規模でもできなくはないのかなと感じました。しかし、何か議論をしたり、相互でリアルタイムに情報のやり取りをしたりしようと思うと少人数に絞らないとやはり難しいのかなとも思いました。適正な人数というのはわかりませんが、対面でのグループワークが7~10人程度として、リモートの場合は画面に映る人数的にも、1グループ4~5人程度でしょうか。チャットの併用等で条件も変わってくるかと思います。あとはもう、主催者側も参加者側も回数を重ねていくしかないのかなと思いました。
- ・ケアキャビネットも使えると便利なんだろうと思いつつ、まだまだ使いこなせていない状況です。今回のような研修に参加していく中で、うまく活用ができるようになっていけると良いと思います。
- ・今後もこのような研修は必要だと思う。業務の効率化にも繋がると考えます。
- ・リモート会議がもっと手軽に使いやすくなれば良いと思います。